



「日本遺産(葡萄畑が織りなす風景)」や「日本農業遺産(盆地に適応した山梨の複合的果樹システム)」に認定されているこの地域は、甲府盆地の東側に位置し、温暖な気候と肥沃な土地に恵まれ、果樹栽培を中心とした農業が基幹産業となっており、特に桃やぶどうは日本有数の収穫量を誇っています。また、中央自動車道や雁坂トンネルで結ばれている首都圏に近い地理的条件を活かした観光産業も盛んです。石和温泉郷をはじめとする各温泉地、観光農園やワイナリー、さらには西沢溪谷や大菩薩嶺、そして恵林寺や大善寺など寺社仏閣も多く点在する魅力ある観光資源が豊富な地域です。

山梨市 | 笛吹市 | 甲州市

峡東地域

山梨市

Yamanashi City

人口: 31,913人
世帯数: 14,844世帯
総面積: 289.80 km²
人口密度: 110.12 人/km²

※令和6年8月15日現在



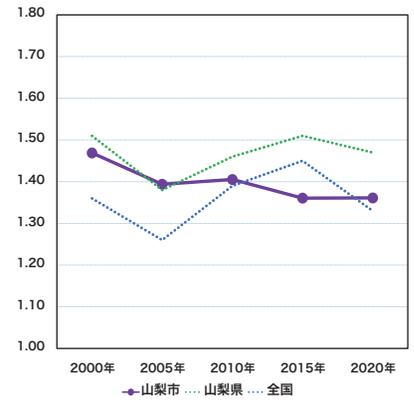
合計特殊出生率
(2018年～2022年)

1.36

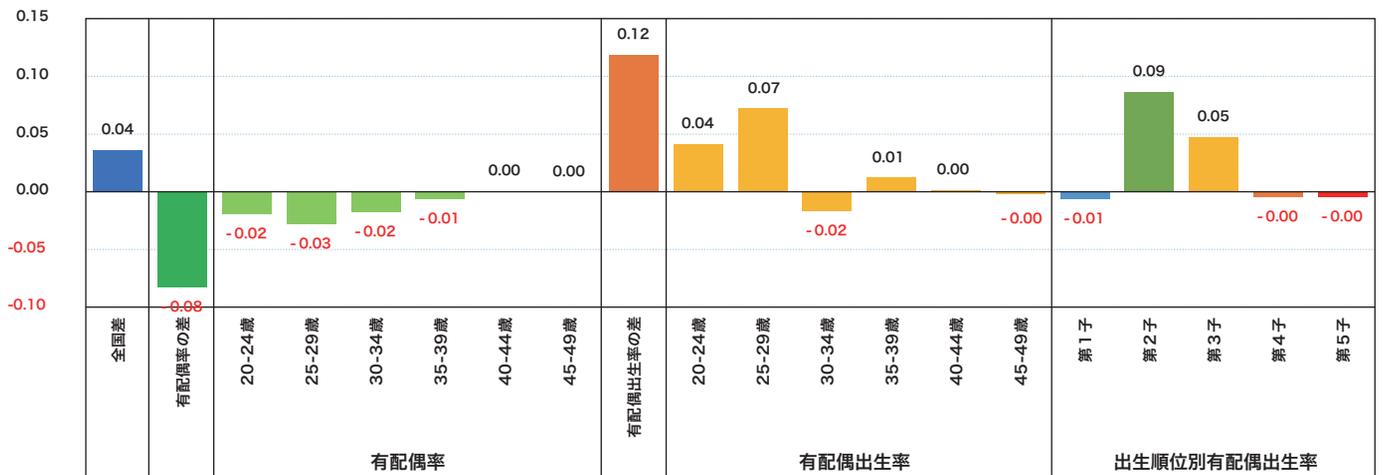
ベイズ推定値 1.37

合計特殊出生率(2018年～2022年)の
全国との差 **+0.03**
ポイント
県内との差 **-0.01**
ポイント

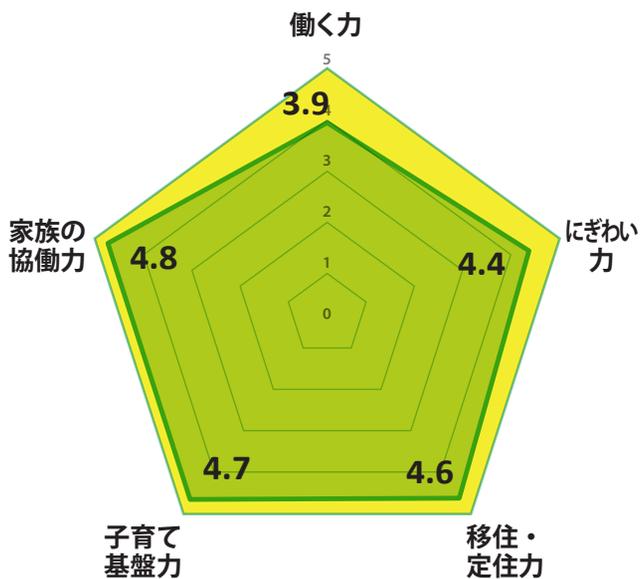
合計特殊出生率の変化
(2000年～2020年)



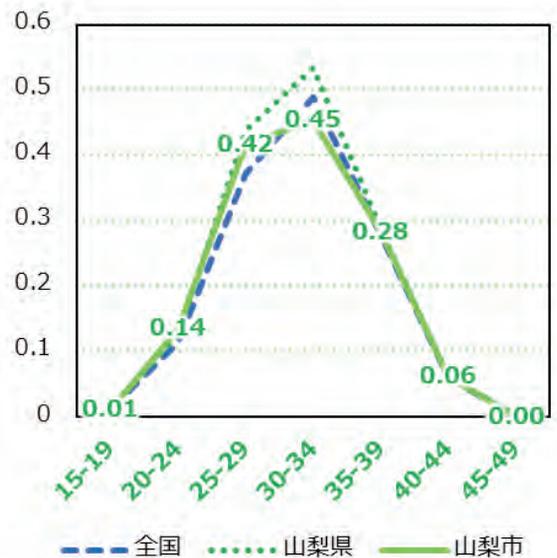
合計特殊出生率の要因分解(2018～2022年・全国差)



合計特殊出生率に影響を及ぼす5つの地域力



女性の年齢別出生率



首長からひとこと

山梨市は世界農業遺産等に代表される果樹産業の風土に根ざした地域です。

近年は、本市の恵まれた自然環境での子育てや就農を希望する世帯の転入も多く見られ、社会増の傾向が見られています。

今後も本市の資源を最大限活用する中で、引き続き子育て支援策やしごとづくり、快適な住環境や交通網の整備、また、本市を誇りに思い未来に羽ばたく人材育成を推進し、他地域とも連携しながら人口減少対策に取り組んでまいります。



山梨市長
高木 晴雄

我が街のアピールポイント

- 恵まれた自然環境・景観…市域の8割以上を森林資源が占める本市では、季節ごと四季折々に変化する景観のなかで、子どもから大人まで自然の豊かな恵みを楽しむことができます。
- 成長産業をとげる果樹農業…本地域の果樹農業は、今改めて国内外からの需要が高まっています。今後もモモやブドウ等をはじめとする果樹の生産や、ワイン特区を活用した新たな経済の活性化など、果樹農業を起点とした多角的な成長産業化が期待できる地域です。
- 人口増加の受け皿となる環境整備…副次拠点エリアとして、定住人口の受皿及び活性化の役割を担うアザレアタウン(17haの区画整理事業)や、旧庁舎跡地エリアを中心とした多目的広場や屋内こども運動遊び場の整備、また、今後は山梨市駅に隣接した駅南口の整備にも取り組んでまいります。

少子化突破に向けた特徴的な取組



- <取組名> 「屋内こども運動遊び場」の整備
- <目的> 天候に左右されない安全な場所で、遊びや運動を通じた健やかな成長を育むことができる空間の創出を図ります。
- <概要> 年齢に応じ、遊具で創意工夫しながら遊ぶことができ、子育て世代の交流が生まれる空間づくりとして整備を進めています。
- <取組名> 「アザレアタウン」の整備
- <目的> 山梨市駅と東山梨駅との中間に位置するそれぞれ駅から約1kmの範囲に住環境が整った安全・安心な定住人口の受皿及び活性化を実現します。
- <概要> 市役所や商業施設・総合病院などが徒歩圏内にあるこの重要な拠点となる地域をアザレアタウンとして整備しています。
- <取組名> 「山梨市駅南口周辺整備」
- <目的> 大規模工場の跡地を市が整備することとし、地域のにぎわい力の創出拠点を目指し今後整備を進めます。
- <概要> 駅に隣接し、幼稚園、小学校、高校、専門学校等が集積するこの地域において、にぎわい創出や世代を問わない未来への発信・発進地となるエリアを形成します。

分析

山梨市は、全国に比べて出生率が0.04と高く、主に夫婦の出生力によってその高さが説明され、結婚要因は顕著に低い点が特徴的である。

夫婦の出生力要因については、第2子、第3子の寄与度が高く、住み慣れた場合は比較的安定した出生力であるが、結婚したばかりの夫婦が少ない(他地域へ転出してしまっている?)という点が示唆される。

要因分解結果を年齢別有配偶率・出生順位別有配偶出生率に分解した結果では、有配偶率は20～39歳までの年齢ですべてマイナスの寄与度となっており、夫婦の出生力の第2子の高さが際立っている。

年齢別出生率で見ると、30-34歳の出生率が全国よりも低く、20代後半から30代前半で結婚している層が薄い。

対策

地域力は平均に比べ、全体的に低く、とりわけ働く力が低い。雇用や給与を上げること、若い夫婦に選択される町づくりが求められる。

未来への 処方箋



笛吹市

Fuefuki City

人口: 65,306人
世帯数: 30,616世帯
総面積: 201.92 km²
人口密度: 323.43 人/km²

※令和6年8月15日現在



合計特殊出生率
(2018年~2022年)

1.57

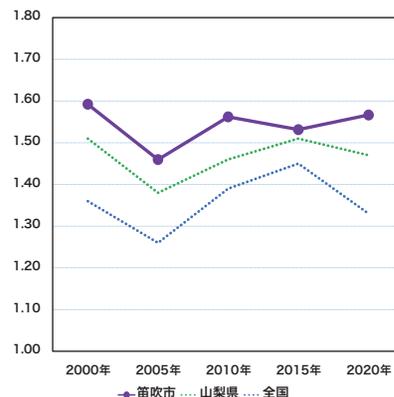
ベース推定値 1.56

合計特殊出生率(2018年~2022年)の

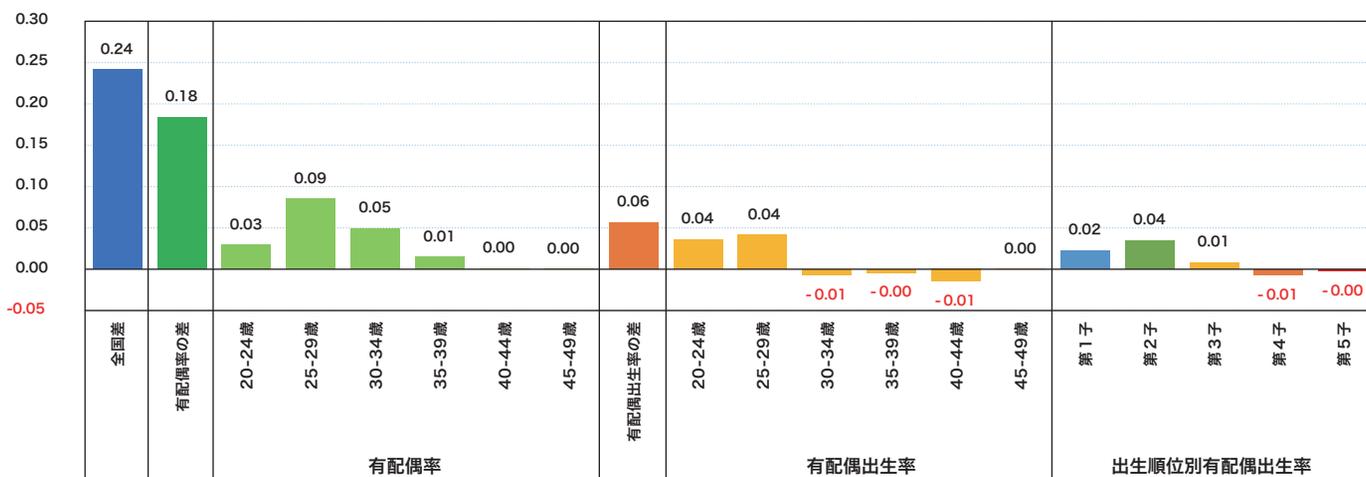
全国との差 **+0.24**
ポイント

県内との差 **+0.11**
ポイント

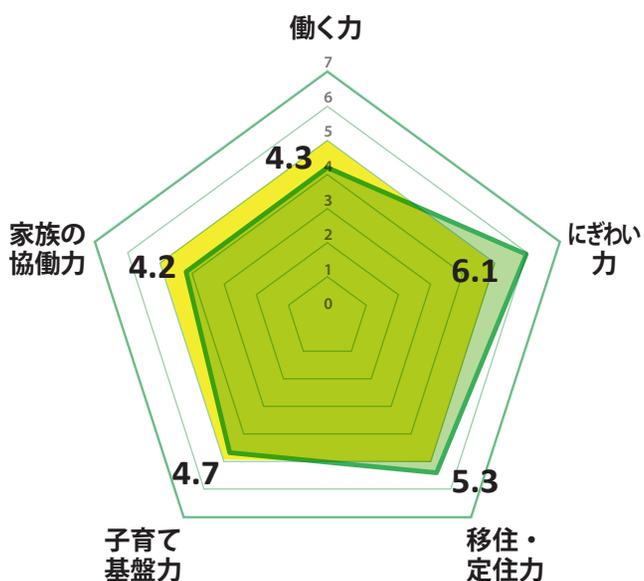
合計特殊出生率の変化
(2000年~2020年)



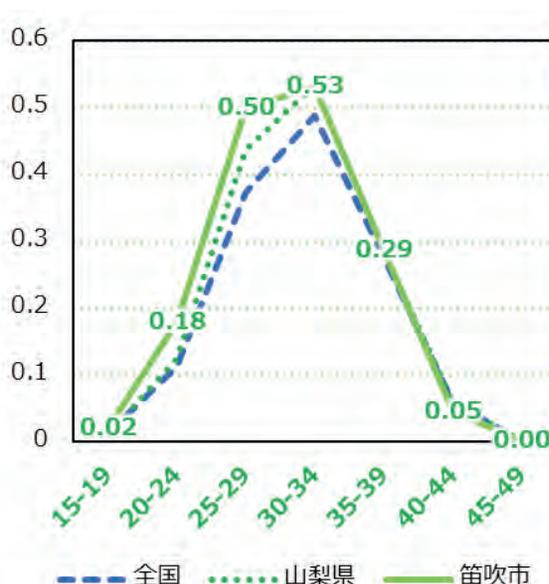
合計特殊出生率の要因分解(2018~2022年・全国差)



合計特殊出生率に影響を及ぼす5つの地域力



女性の年齢別出生率



首長からひとこと

本市は、第二次笛吹市総合計画に掲げた市の将来像「ハートフルタウン笛吹～優しさあふれるまち～」の実現に向け、基本目標の1つに「幸せ実感 ころ豊かに暮らせるまち」を掲げ、子どもたちの健やかな成長を地域社会全体で支えるため、「『笛吹子どもまんなか』みんなで育むまちづくり」をスローガンに、安心して子どもを産み、子育てできる環境の充実を図ります。

子育て世帯の負担軽減や子育てと就労の両立及び児童の健やかな成長をささえるための施策に取り組んでいます。



笛吹市長
山下 政樹

我が街のアピールポイント

甲府盆地の中央に位置し、笛吹川に沿って広がる市域には、農業、観光業、商業、工業がバランスよく営まれており、特に「桃・ぶどう日本一の郷」である果樹農業と石和・春日居温泉郷の温泉資源が地域の産業構造を特色付けています。

また、南部の山間地は豊かな自然に恵まれた日本の原風景と形容すべき特有な空間を形成しており、豊富な自然と地域資源に恵まれた魅力ある地域です。

春は日本一の桃源郷や桃源郷春まつり、夏は800有余年の歴史がある笛吹川石和鶉飼や石和温泉花火大会、秋には川中島合戦戦国絵巻、冬は県内最大級となるイルミネーションなど、年間を通じて、にぎわいの創出に努めています。

少子化突破に向けた特徴的な取組



子育て支援センター事業

<目的>

子育て家庭の不安や悩みに対する相談、指導を行うほか、子育て親子及び妊婦の交流の場を提供するとともに、利用者の積極的な交流を促進し、地域における子育て支援の充実を図ります。

<概要>

本市の子育て支援センターは、他市に比べ多く、市内7か所(石和3か所、御坂、一宮、八代、春日居各1か所)に設置している。各支援センターでは、特色のあるイベント等を実施し、妊婦から未就学児までの親子が、市内外を問わず誰でも無料で利用できるため、様々な人たちと交流することができる。また、子育てに関する悩みを相談したり、育児に関する様々な情報を集めることができます。

春日居子育て支援センターは、改修により市内の他のセンターに比べ、面積も広く、室内ブランコ等の遊具も設置され、広々としたスペースで未就学児とその保護者が、安心してゆったりとした時間を過ごせる場所となっています。

分析

笛吹市は、全国に比べて出生率が0.24高く、結婚要因、夫婦の出生力要因ともに高く、とりわけ結婚要因の高さによって出生力が全国を上回る。出生順位別にみると、第1～3子までそれぞれプラスの寄与度となり、安定した出生力構造である。

地域力でみると、にぎわい力高いなど生活利便性が高いことが夫婦の出生力要因にプラスに働いている、移住定住力も平均より高く、ベッドタウンとしての機能が結婚要因に影響していることが示唆される。

要因分解結果を年齢別有配偶率・出生順位別有配偶出生率に分解した結果では、20～30代の寄与度はプラスであり、とりわけ25～29歳が突出している。年齢別出生率でみても25～34歳の出生率の高さが特徴的である。

対策

働く力・子育て基盤力は平均よりも低いため課題が残ること、家族の協働力で示されるような共働き環境や住環境の改善がより高い出生力となるためのポイントといえる。

未来への
処方箋



甲州市

Koshu City

人口: 27,593人
世帯数: 13,104世帯
総面積: 264.11 km²
人口密度: 104.48 人/km²

※令和6年8月15日現在



合計特殊出生率
(2018年～2022年)

1.33

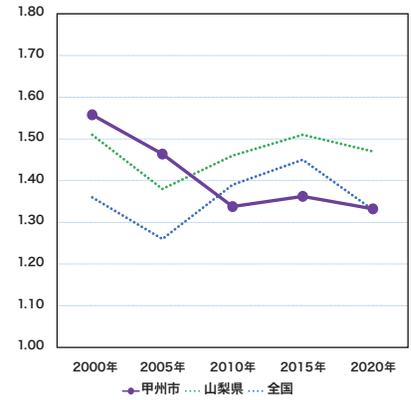
ベース推定値 **1.36**

合計特殊出生率(2018年～2022年)の

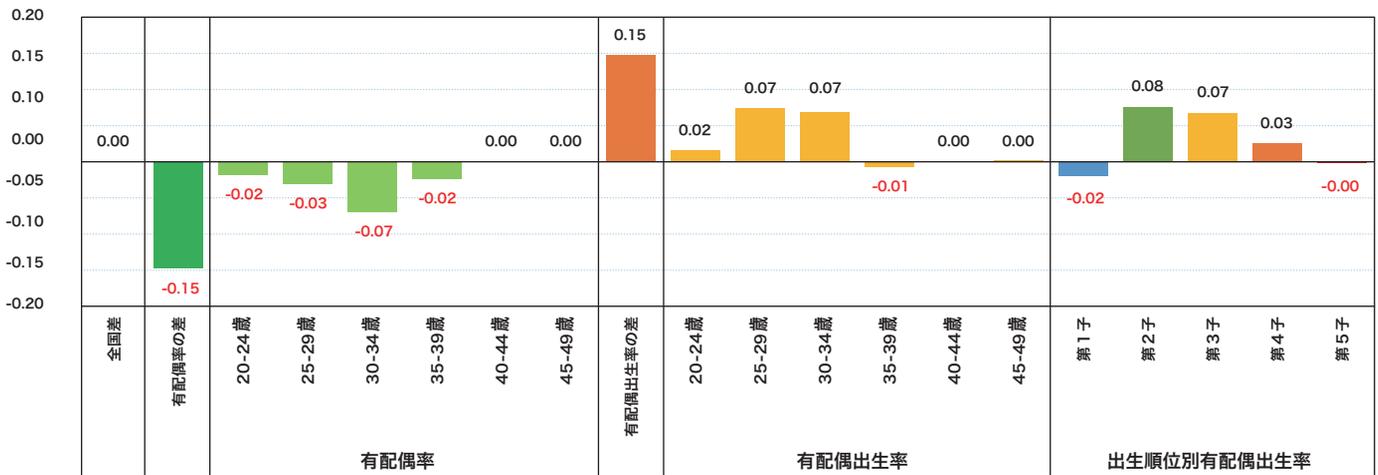
全国との差 **0**
ポイント

県内との差 **-0.13**
ポイント

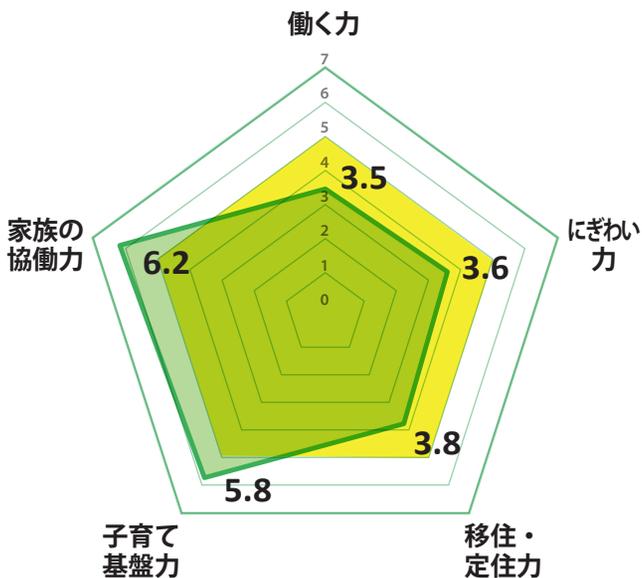
合計特殊出生率の変化
(2000年～2020年)



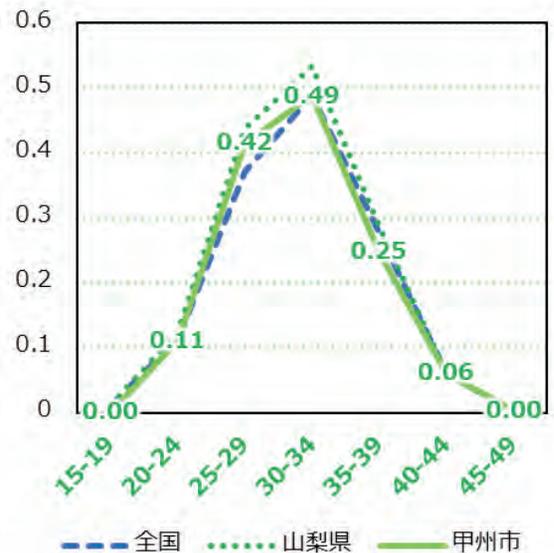
合計特殊出生率の要因分解(2018～2022年・全国差)



合計特殊出生率に影響を及ぼす5つの地域力



女性の年齢別出生率



首長からひとこと

甲州市はフルーツやワイン、豊かな自然と都心へのアクセスの良さに恵まれ、近年ではその魅力に気付いた首都圏域の都市住民から多く注目をいただいています。また、出産祝金給食費無料化、高校生までの医療費無料化など、子育て支援施策についても県内トップクラスの充実を誇っています。

まずは観光から、ぜひ本市に遊びにいらしてください。四季を通して本市を見ていただければ、どんなライフスタイルにも対応可能な本市のポテンシャルにお気づきいただくと確信しております。多くの皆様のご来訪を心よりお待ちしております。



甲州市長
鈴木 幹夫

我が街のアピールポイント

甲州市は、特産の桃、ブドウを主力とする果樹栽培において世界農業遺産に認定された名産地であり、ブドウを原料とするワイン醸造においても日本ワイン発展の歴史を紡ぐ日本遺産認定の地でもあります。また国宝や文化財、戦国武将武田家にまつわる社寺仏閣も多く、その有りようは市のキャッチコピーである「豊かな自然、歴史と文化に彩られた果樹園交流都市」を見事に表しています。自然、フルーツ、歴史など多くの魅力に加え都心まで電車・車とも90分の距離は首都圏域への往来にも利便性が高く、近年は二地域居住や移住による都市住民の流入が増加し、新規就農やリモートワークなど様々なスタイルで本市に定着してきています。

少子化突破に向けた特徴的な取組



安心して妊娠・出産・子育てができるまちづくり事業

<目的>

既存の母子保健事業を通じて、妊娠・出産・子育て期における相談支援をタイムリーに実施し、子育ての満足感や安心感の維持・向上を図る。これにより、人口対策への寄与を目指す。また、育児の孤立化や児童虐待予防の重要性が高まる中、庁内関係課や市内の子育て支援・母子保健関係機関との連携を強化し、妊娠・出産・育児の切れ目ない支援を行う。

<概要>

妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない相談支援を実施するため、各種母子保健事業を展開。また、地区担当保健師が関係機関と連携し、親子を継続的に支援する。

分析

甲州市は、全国の出生率との差はないものの、結婚要因はマイナス・夫婦の出生力がプラスであることが相殺されている。

要因分解結果を年齢別有配偶率・出生順位別有配偶出生率に分解した結果では、20～30代の有配偶率はマイナスの寄与度、夫婦の出生力要因の第1子もマイナスであるが、第2・3子の高い寄与度によって出生力水準が決定されている。年齢別出生率でみると、全国に比べて25～29歳では高いものの、30代後半では低いことで同水準の出生力を示している。

対策

夫婦の出生力要因でみると、結婚要因に影響する働く力、移住定住力が平均よりも低く、夫婦出生力に影響する子育て基盤力・家族の協働力は平均よりも高い構造がこのような結果を生み出している。若い夫婦が定住するために必要な雇用と定住に関する施策が出生力向上のためのポイントである。

未来への
処方箋

